

日本臨床検査医学会 2013 年度 第 3 回 臨床検査専門医・管理医審議会議事録

日 時：2013 年 12 月 14 日（土）10：30～11：30

場 所：日本臨床検査医学会 事務所

出席者：村田 満審議会委員長、前川真人副理事長、村上正巳、土屋達行、小柴賢洋、矢富 裕 各委員会委員長、東條尚子 専門医会 代表（7 名）

欠席者：高橋伯夫 委員長（1 名）

I 委員長挨拶

村田 満委員長より開会にあたり挨拶があり、議事が進行された。

II 報告事項

1. 研修施設・指導者認定委員会報告（村上正巳 委員長）

2014 年 1 月 1 日付再認定、その他、審査結果について

- ・2010 年 1 月 1 日付認定病院 5 年で認定されている施設より指導責任者の交代申請があり承認された。
- ・2010 年 7 月 1 日付で学会発表がなく認定されなかった施設から、発表後に再認定申請があり、認定病院 2 年で認定された。
- ・再認定申請施設の 22 施設については、12 施設が認定病院 5 年と認定されたが、この内 4 施設はカリキュラムが簡単のため再提出後に認定することとなった。そして、5 施設が認定病院 2 年、4 施設が準認定病院、1 施設が教育関連特殊施設として認定された。
- ・2 施設は登録されていた教育責任者が異動してしまい、現在は、会員、専門医も不在であるため申請しないとのことだった。また、1 施設は未提出であった。

2. 受験・更新資格審査委員会報告（土屋達行 委員長）

1) 2014 年 1 月 1 日付臨床検査専門医更新者の審査結果について

- ・一昨年の更新より 65 歳以上でも単位取得が必要となり、該当者の 10 名は単位が不足していたが経過措置を希望したため更新を認めた。
- ・2005 年 1 月 1 日～2011 年 12 月 31 日まで留学のため休会、2012 年 1 月 1 日から復会した保留申請者 1 名より更新申請があり単位を満たしており有資格となった。
- ・83 名については単位を満たしており有資格と承認され、初回更新の 26 名については報告書 20 編の単位も満たしたため有資格となった。
- ・保留申請者 6 名については 2 年間の保留が認められた。未提出者 48 名については、再度、更新申請について連絡を行うこととなり、また保留可能とした。
- ・4 名からは更新辞退、5 名からは退会の連絡があった。

2) 2014 年 1 月 1 日付臨床検査管理医更新者の審査結果について

- ・2013 年 1 月 1 日より更新保留していた 6 名から更新申請があり更新単位を満たしており有資格となった。
- ・更新申請者 110 名については単位を満たしており有資格となった。
- ・更新申請があったが 3 名は、当会への参加単位が 10 単位のみで 5 単位不足で単位の必須条件を満たしていないため、不足の単位取得後に申請頂くこととなった。
- ・更新申請があったが 7 名は、当会への参加単位は 15 単位以上であるが、学術集会ないしは特別例会への参加単位がないため、学術集会あるいは特別例会参加後に申請頂くこととなった。
- ・保留申請者 18 名については 2 年間の保留が認められた。
- ・未提出者 60 名については、再度、更新申請について連絡を行うこととなり、また保留可能とした。

3. その他

特になし。

III 審議事項

1. 臨床検査専門医資格者の臨床検査管理医申請認定について（村田 満 委員長）

臨床検査専門医資格者 14 名から臨床検査管理医資格の申請があり、臨床検査管理医として承認された。

2. 2013 年度臨床検査管理医受験結果について（矢富 裕 委員長）

9 月 15 日（日）に東京大学医学部附属病院で実施された 2013 年度第 5 回臨床検査管理医認定試験受験者の合否判定について検討され 23 名が合格と判定された。

当日は台風の影響を受け 1～2 名は影響を受けやや遅れたものの全員が出席し、講義受講態度が大変よく、レベルの高い質問も多数あり、とても充実していたと講評があった。

3. 2013 年 1 月 1 日付評議員の再認定について（村田 満 委員長）

2014 年 1 月 1 日付での評議員再任対象者 13 名について、全員から申請書類が提出され再任単位を満たしており承認された。

なお、本件は資格審査委員会で審議されると規定されており、資格審査委員は審議会委員がメンバーとなっているため資格審査委員会として審議を行った。

4. 2014 年度臨床検査専門医認定試験について（矢富 裕 委員長）

1) 試験実施日について

- ・2014 年 8 月 2、3 日（土日）に、東京大学医学部において実施する予定であり承認された。
- ・今後、新機構での認定となることを見据えた認定試験としていかなければならないこと、また、当会として試験問題を公開していくこともあり、次期の試験委員会、臨床検査専門医制度検討委員会で認定試験の在り方、基準などを検討し、それに従って実施することが望ましいとなった。

5. 2014 年度臨床検査管理医認定試験講習・認定試験について（東條尚子 委員長）

1) 講習・試験実施日について

- ・2013 年度第 6 回臨床検査管理医講習・認定試験は、2014 年 9 月の日曜日に東京医科歯科大学で実施することが報告され承認された。
- ・講習会（セミナー）の講師については、評議員から適切な先生をお願いすることとなった。

6. 日本臨床生理学会からの関連団体としての認証依頼（村田 満 委員長、矢富 裕 先生）

日本臨床生理学会から、当会臨床検査専門医の更新単位を日本臨床生理学会の学術集会等の参加による単位認定依頼があり、検討され問題ないとなった。しかし、日本臨床生理学会から正式な依頼状が提出されていないため、書類受領後に正式に承認することとなった。

また、臨床検査専門医更新規定の関連団体に、当会のサブスペシャリティー学会として承認した、日本人類遺伝学会、日本臨床細胞学会、日本人間ドック学会、日本総合健診医学会も含むべきとなった。

7. 研修施設、専門医維持にあたり剖検・CPC の要不要の問合せについて（村田 満 委員長、村上正巳 委員長、土屋達行 委員長）

岡山大学の専門医等に関する担当者より、今後の新機構での専門医の認定に関するプログラムについて大学で対応するため、当会の教育施設認定／認定医／専門医の取得・維持に剖検、CPC が必要か否かの質問があった。

これについて検討し、当会臨床検査専門医制度認定研修施設規定には、1) 臨床病理検討会などが定期的開催されていること。2) 剖検が出来ること、とあるため必要である。

認定更新制度規定には、剖検、臨床病理検討会（CPC）への出席義務はないため、専門医認定試験の受験申請や、更新申請には、剖検症例数、臨床病理検討会への出席回数等は現時点では必要はない。

しかし、専門医認定が学会から新機構となった場合、状況の変化によっては、申請要件の見直しをする可能性もあるとなり、その旨、回答することとなった。回答については受験・更新審査委員長であり臨床検査専門医制度検討委の土屋達行先生に依頼された。

8. その他

2014 年度の審議会の予定について検討され、2014 年度は委員メンバーが入れ替わるため仮であるが以下の通りとなった。

第1回審議会：2014年6月19日（木）

第2回審議会：2014年8月30日（土）

第3回審議会：2014年12月27日（土）